

南大分地域ビジョン会議 通信

第1号

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆さんにご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めてもらう中、それぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第1回地域ビジョン会議



■平成 29 年 6 月 5 日（火） 19:00~21:00

■南大分公民館 研修室

開会

一、顧問紹介

二、議事

1. まちづくりビジョン検討の進め方について

2. 計画資料等の説明

① 大分市総合計画について

② 地域の将来人口について（大分市人口ビジョンより）

③ 地域の現状について（各種資料の説明）

④ 市民との協働による地域コミュニティの活性化について

3. 意見交換

三、その他

閉会

事務局より資料の説明

事務局より今後、地域まちづくりビジョンを策定するにあたり参考となる大分市総合計画や地域の将来人口、地域コミュニティの活性化等について説明を行いました。

◇総合計画

大分市総合計画は、福祉や環境、商工業など、各個別計画の最上位に位置する計画であり、大分市の行政運営はすべてこの総合計画に沿って進められています。

本計画では、大分市がめざすまちの姿（都市像）として「笑顔が輝き夢と魅力あふれる未来創造都市」を掲げ、その将来像の実現に向け①「健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり」、②「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり」、③「安全・安心を身近に実感できるまちづくり」、④「にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり」、⑤「将来にわたって持続可能な魅力あふれる街づくり」、⑥「自然と共生する潤い豊かなまちづくり」の6つの基本的な政策に沿った各種施策を展開しています。

◇人口推移 南大分地域は、本市の人口の約1割を占めていますが、平成52年には約11%減少すると推測されており、本市全体と比較すると人口の減少率がやや高くなっています。

城南校区において現状より人口が増える以外は、南大分、荏隈、豊府校区は減少傾向にあり、南大分全体では27年度から比べると52年には5千人近く人口が減る見通しです。

◇南大分地域の現状について（各種データ）

大分市内の市立幼稚園と私立幼稚園の一覧では、公立と私立合わせて6園あります。定員は併せて800名で、他の地域と比べると、明野について2番目に多い定員数となっております。その他、都市公園の整備状況、JRの駅別の状況などを資料等、配付しています。この資料をもとに、皆様でご意見を出し合ってください、提言書に記載する内容を議論していただきます。



意見交換

それぞれ委員皆様から南大分地域が強く優れた部分、弱い又は苦手な部分、チャンスとなる要因や地域を脅かす要因などの視点で、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。



・大きな強みとしては、JRの駅が南大分にあるということです。ただ車の駐車スペースがなくアクセスが悪い。

・コミュニティの結束力が弱くなっているのが、弱みになっているということを感じております。



・豊府校区には校区の公民館が無いのです。幼稚園と一体化した公民館を作ったらどうだろうと思います。高齢者と幼稚園児と色々な繋がりができると思います。

・道路が狭くて区画整理がされていない。畑中にバス停があるのですが、日に何台来るかといった状態。南大分を循環するような、大きいバスじゃなくてもいいから、改善するとよいのではないかな。



・地域の人たちとのコミュニケーションを計って何かあった時には、動けない高齢者の方が障害を持っている方がいても、すぐ助けられる地域で、そういう地域を作っていくんだと言う、そういう目標を持っていきながら具体的に何をしていくのかを是非検討いただきたい。



・南大分の強みは、なんといっても歴史の宝庫なところです。せっかく歴史文化があるというこの地域において、もう少しなんか知識を広める方法、知識というか学ぶ場所。これがやっぱり必要なという気がします。

・道路は狭く水路に蓋がない。通学路の横をスクールゾーンや柵も何も無いところを通して学校に通わないといけない。

・子どもたちが県外に出ても南大分の祭りとか思い出し、「面白かったよね」と「小学校で先生達とこんな遊びをしたね」と、そんなことが言えるようなまちづくりに行けばいいとおもいます。

